



やまだ 地域活動委員会 ニュース

こんにちは♪
わたしたち「やまだ地域活動委員会」では、『私たちの買い物（消費行動）が世の中にどんな影響を与えるか？』を地域の組合員さんたちと学び合うため、『マークを意識して買ってみませんか？』をテーマにニュース発行をしています。
今回のテーマは **産直・ハート栽培** です。



一株トマトでおなじみ、畑へ行ってきました♪
9/21 オレンジクィーン（白菜）の定植体験

産直 産地の紀ノ川農協の



畑の土に足をとられるので一定の距離で定植するのがむずかしかったです。

生産者さんのご苦労がわかりました。感謝です♪

11/7に紀の川から届いた畑の様子です



生産者さんの手間暇かけた愛情ですくすく成長していますね。

自分で植えたので、生産者さんや産地とのつながりを感じます♪

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加人数を制限して、活動委員のみで行かせていただきました。申し訳ありません。参加人数の制限がなくなりましたら、地域の組合員さんと一緒に紀の川へ行きたいと思っております。

*お問い合わせや組合員活動に興味のある方はこちらまでお電話またはメールを下さい
おおさかパルコプ組合員サービスセンター（火～金9時から18時、月・土9時から17時）
0120-299-070 072-856-7671（携帯電話の場合、有料）0120-299-230（FAX）
メールアドレス kumikatu@palcoop.or.jp ⇒
（メールの場合は、件名に「やまだニュース」と入れてください）

受付させていただきました個人情報につきましてはこの取り組み以外には使用しません
枚方やまだ地域活動委員会



パルコプの産直産地（一部）

- ・富山コシヒカリ（JAいなば）
- ・さくらたまご（北坂養鶏場他）
- ・元気鶏（マルイ農協）
- ・柿・梅・梅干し（美吉野農園）



近年の異常気象や、ウクライナショックによる燃料・資材・肥料の値上げなど、農家にとっても厳しい世の中ですが、紀ノ川の農作物を食べて『おいしい！』と喜んでもらえるよう、日々頑張っています！

産直 とは？



《生産者の思い》 将来にわたって生産を続けていきたい！

化学肥料による農地の疲弊や農薬使用による生産者の健康被害、農作物の価格の乱高下による不安定な収入の問題を抱え、将来に農業への危機感がありました。その状況の中、生産者は「将来にわたり安心して農業を続けていきたい」という思いがありました。

12月第1週から
紀の川からの
野菜だより
（いろんな野菜が入ったBOX）が
企画されますので、
ぜひご利用
くださいね♪

ハート栽培：化学合成の農薬・肥料を一般より3割減以上にし、
土壌環境や生産者の健康への影響をできるだけ少なくする栽培
⇒このマークが目印です！



消費者（組合員）

《消費者（組合員）の思い》 より安心しておいしいものが食べたい！

氾濫する化学物質の中で、それによる健康被害が発生していました。ですので、消費者としてできるだけ農業や化学肥料の使われていない安心なものがほしいという組合員の思いがありました。



生産者の思い



組合員の思い



生産者と組合員の思いが
結びつきお互いの考えを理解し
共有することから**産直** という
仕組みがうまれました

わたしたちが **産直** **ハート栽培** を選ぶことで、安心安全な農作物を買うことができ、生産者は人と環境にやさしい環境保全型農業を続けられます♪